

第168回簿記検定試験実施要綱

◇主催 日本商工会議所・氷見商工会議所

◇試験日時 令和6年11月17日(日)

1・3級 午前9時～、 2級 午後1時30分～

◇試験会場 氷見商工会館

◇受験料 1級 8,800円、 2級 5,500円、 3級 3,300円

初級 2,200円(初級の受付は各ネット試験施行会場にて。当所では受け付けません。)

◇申込受付 ネット申込:9月30日(月)09:00～10月20日(日)23:59

窓口申込:9月30日(月)～10月21日(月)(営業時間内)

◇申込場所 氷見商工会議所

〒935-0013 氷見市南大町10-1 (0766)74-1200

◇申込方法 受験申込書に所定の事項を記入し受験料を添えてお申込み下さい。

申込後の受験料の返却はいたしません。

◇試験科目及び内容

級	試験科目	試験時間	程度・能力
1級	商業簿記 会計学 工業簿記 原価計算	3時間 (90分で途中 休憩有)	公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門。合格すると税理士試験の受験資格が得られる。 極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる。
2級	商業簿記 工業簿記 (初歩的な原価計算を含む)	1時間30分	企業の財務担当者として必要な高校(商業高校)程度の商業簿記、工業簿記の知識が身につく、株式会社の経営管理に役立つ。財務諸表を読むことができ、自社や取引先の経営内容を数字から把握できる。

3級	商業簿記	1時間	企業で働く者に必須の簿記の基礎知識が身につく、商店や中小企業の経理事務に役立つ。経理関連書類を読むことができ、青色申告などの書類作成もある程度できる。経理・財務担当以外でも必要な知識として評価する企業が多い。
初級	商業簿記	40分	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に利活用することができる。

◇合格基準 100点満点で70点以上で合格。(1級は1科目ごとの得点が40%以上)

◇合格発表日 令和6年12月2日(月)予定(2、3級)※1級は令和7年1月6日(月)予定。

氷見商工会館1階及びホームページ <http://www.ccis-toyama.or.jp/himi/>
にて受験番号のみ提示いたします。

◇合格証書 郵送いたします。

◇試験当日持参するもの

1. 受験票
2. 筆記用具(HBまたはBの鉛筆、シャープペン、消しゴム)
3. 電卓またはそろばん
4. 身分証明書

(原則として、氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる運転免許証、旅券(パスポート)、学生証、社員証などです。)